

# (54) INFORMATION REPORTING SYSTEM

(11) 58-108855 (A) (43) 29.6.1983 (19) JP

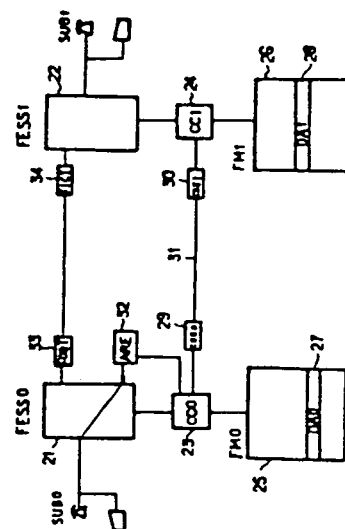
(21) Appl. No. 56-208504 (22) 23.12.1981

(71) NIPPON DENSHIN DENWA KOSHA (72) NORIYOSHI FUKUMARU(2)

(51) Int. Cl. H04M7.00, H04L11/20, H04M3/50

**PURPOSE:** To report termination-side information to an origination-side by voice through a signal path by transferring information stored in the information storage file device of termination-side exchange to an origination-side exchange through the signal path, and reporting it to an origination-side terminal by voice through an audio response unit.

**CONSTITUTION:** When the termination-side exchange FESS2 receives this signal by a common line signal device 30, its central processor 24 accesses a subscriber information file 26 to discriminate the equipment of a terminating subscriber SUB1, and sends the subscriber information 28 to a signal circuit 31 through the common line signal device 30. The origination-side exchange FESS0, on the other hand, receives the subscriber information 28 by a common line signal device 29 and its central processor 23 analyzes the subscriber information 28; when information reporting guidance is discriminated, report information is extracted from the subscriber information 28 and converted into a voice pattern, which is inputted to the audio response unit 32. Consequently, the audio response device 32 edits voice according to said pattern to report the voice information to the originating subscriber SUB0 through a path 0.



① 日本国特許庁 (JP)

① 特許出願公開

② 公開特許公報 (A)

昭58—108855

51 Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

43 公開 昭和58年(1983)6月29日

H 04 M 7/00

6446—5K

H 04 L 11/20

6651—5K

H 04 M 3/50

7406—5K

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 3 頁)

54 情報通知方式

21 特 願 昭56—208504

22 出 願 昭56(1981)12月23日

72 発 明 者 福丸典芳

武蔵野市緑町3丁目9番11号日

本電信電話公社武蔵野電気通信

研究所内

72 発 明 者 中島昭久

72 発 明 者 三浦章

武蔵野市緑町3丁目9番11号日

本電信電話公社武蔵野電気通信

研究所内

73 出 願 人 日本電信電話公社

74 代 理 人 弁理士 鈴木誠

明 細 書

発明の名称

情報通知方式

特許請求の範囲

1. 発端端末を発端交換機、通信路、着端交換機を介して着端端末に接続する通信網において、少なくとも前記着端交換機に端末の運用情報を含めた網の運用情報を記憶する情報記憶ファイル部を設けると共に、前記発端交換機には入力データパターンに従って音声を集音出力する音声応答装置を設け、且つ、前記発端交換機と着端交換機の間前記通信路とは別に局間信号路を設け、前記着端交換機の情報記憶ファイル部に記憶されている情報を前記局間信号路により前記発端交換機に転送し、該発端交換機の同記音声応答装置により音声に変換して発端端末に通知することを特徴とする情報通知方式。

発明の好適な説明

本発明は、発端交換機に音声通話路をもたない通信網における着端情報の発端への音声通知方式

に関するものである。

従来の音声通信網における通知方式を第1図により説明する。第1図において、1は電話機、2、5は加入者線電話交換機、3、6は出回線トランク、4、7は入回線トランク、8、9は局間中継線、10は音源局、11は音源である。今、電話機1からのダイヤルにより、加入者電話交換機2では、音声通話回線である出回線トランク3を介して加入者線電話交換機5へダイヤル番号を送出する。加入者線電話交換機5では該ダイヤル番号を分析し、音声通知対象番号であることを識別すると、出回線トランク6を介して音源局10へ信号を送出し回線設定を行う。音源局10では該信号を分析し、音源11へ搬送を行い、11-7-9-6-5-4-8-3-2の通話路により、電話機1の加入者へ音声通知を行う。

以上のように、従来の電話網においては信号路が通話路と兼用されており、呼設定信号送出段階から通話路が着端交換機まで設定されるため、着端端末の異動状態等の運用情報を着局より音声出

力し、発信者に通知する方式をとつていた。このため、フアクシミリ専用網、データ専用網のように音声通話路がない網においては、着調の情報を音声で発調端末に通知することが不可能となる欠点や、電話網のように音声回線をもつ網においても、発着交換機間の通話路の回線保留時間が長く、回線の使用効率が悪くなる欠点があつた。

本発明の目的は、上記従来の欠点を解決し、音声通話路をもたない通信網においても、信号路を介して着調情報を発調に音声通知することを可能とした情報通知方式を提供することにある。

上記の目的を達成するため、本発明は、少なくとも端末の運用情報を含めた網の運用情報を記憶する情報ファイル装置を着調交換機に設けると共に、発調交換機には入力データパターンに従つて可変音声を編集出力する音声応答装置を設け、着調交換機の情報記憶ファイル装置に記憶されている情報を信号路により発調交換機に転送し、その音声応答装置により発調端末に音声通知することを特徴とするものである。

と発調交換機 FESS0 の中央処理装置 23 は、発信加入者 SUB0 が発調交換機 FESS0 に收容されていることを加入者情報ファイル 25 中の加入者情報 27 により判別し、また着側加入者 SUB1 が他の着調交換機 FESS1 に收容されていることを識別すると、着信加入者 SUB1 の加入者情報要求信号を共通線信号装置 29 を経由して着調交換機 FESS1 に致る信号回線 31 に送出する。一方、着調交換機 FESS1 がこの信号を共通線信号装置 30 により受信すると、その中央処理装置 24 は加入者情報ファイル 26 にアクセスし、着信加入者 SUB1 が收容されていることを識別し、該加入者情報 28 を共通線信号装置 30 を介し信号回線 31 へ送出する。一方、発調交換機 FESS0 は該加入者情報 28 を共通線信号装置 29 により受信し、その中央処理装置 23 が該加入者情報 28 を分析し、情報通知案内であることを識別すると、該加入者情報 28 から通知情報を抽出し、これを音声パターンに変換し、音声応答装置 32 へ入力する。これにより、音声応答装置 32 は該パターンに従つて音声を編集し、経路 0 により発信加入者 SUB0

第 2 図は本発明の一実施例の構成図である。第 2 図において、FESS0 は発調交換機、FESS1 は着調交換機、SUB0 は発信加入者、SUB1 は着側加入者を示す。通常、発信加入者 SUB0 は発調交換機 FESS0 のネットワーク 21、非音声出回線トランク 33、非音声入回線トランク 34、着調交換機 FESS1 のネットワーク 22 を通つて着信加入者 SUB1 に接続される。ここで、発調交換機 FESS0 は上記ネットワーク 21 の他に、中央処理装置 23、加入者情報ファイル 25、音声応答装置 32 を具備している。一方、着調交換機 FESS1 もネットワーク 22 の他に、中央処理装置 24、加入者情報ファイル 26 を具備している。両中央処理装置 23、24 は共通線信号装置 29、30、信号回線 31 により接続されている。なお、27 は SUB0 の加入者情報、28 は SUB1 の加入者情報である。

今、発調交換機 FESS0 に收容されている発信加入者 SUB0 が他の着調交換機 FESS1 に收容されている着信加入者 SUB1 に通信するために発呼し、着信加入者 SUB1 の加入者番号をダイヤルしたとする。する

へ音声で通知する。

なお、第 2 図はあくまで本発明の一実施例であつて、例えば着側加入者情報を発調交換機の音声応答装置により、発信者に対し音声で通知する作用を利用して、発信加入者 SUB0、着信加入者 SUB1 を電話機に限らず、音声受信機能を具備した簡易データ端末の各種の入出力端末の場合にも応用できる。

以上説明したように、本発明は着側加入者情報を発調交換機の音声応答装置で通知する構成であるから、発調交換機と着調交換機間に音声通知回線をもたないシステムに利用できるという利点や、着調交換機で行っている各種着側加入者情報の音声通知に使用すれば、通信回線の無効保留が少なくなるという利点がある。

図面の簡単な説明

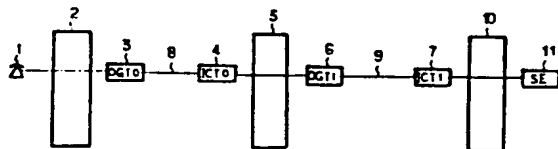
第 1 図は従来の通知方式の構成例を示す図、第 2 図は本発明の通知方式の一実施例を示す図である。

FESS0…発調交換機、FESS1…着調交換機、S

UB0…発信加入者、SUB1…着信加入者、21、  
22…ネットワーク、23、24…中央処理装置25、  
26…加入者情報ファイル、27…SUB0の加入者  
情報、28…SUB1の加入者情報、29、30…共通  
線信号装置、31…信号回線、32…音声応答装置、  
33…非音声出回線トランク、34…非音声入回線  
トランク。

代理人 井 野 士 鈴 木 誠

第 1 図



第 2 図

